

## 第2章 調査結果の概要

### 1. 少子化対策についての意識

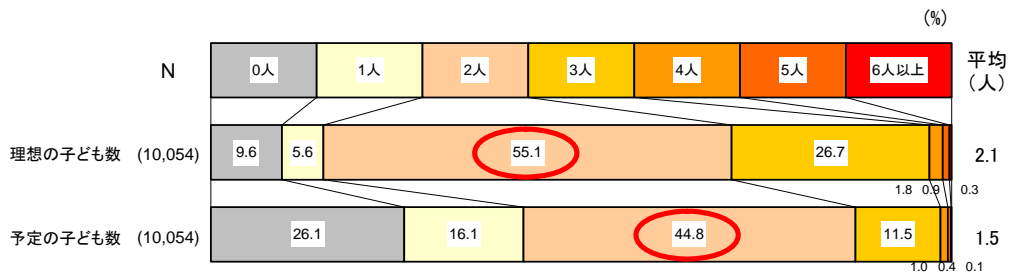
#### (1)理想と予定の子ども数

Q16 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。\*1

Q17 では、実際には何人の子どもを持つつもりですか。\*2

\*1 以下、「理想の子ども数」と表記。

\*2 以下、「予定の子ども数」と表記。



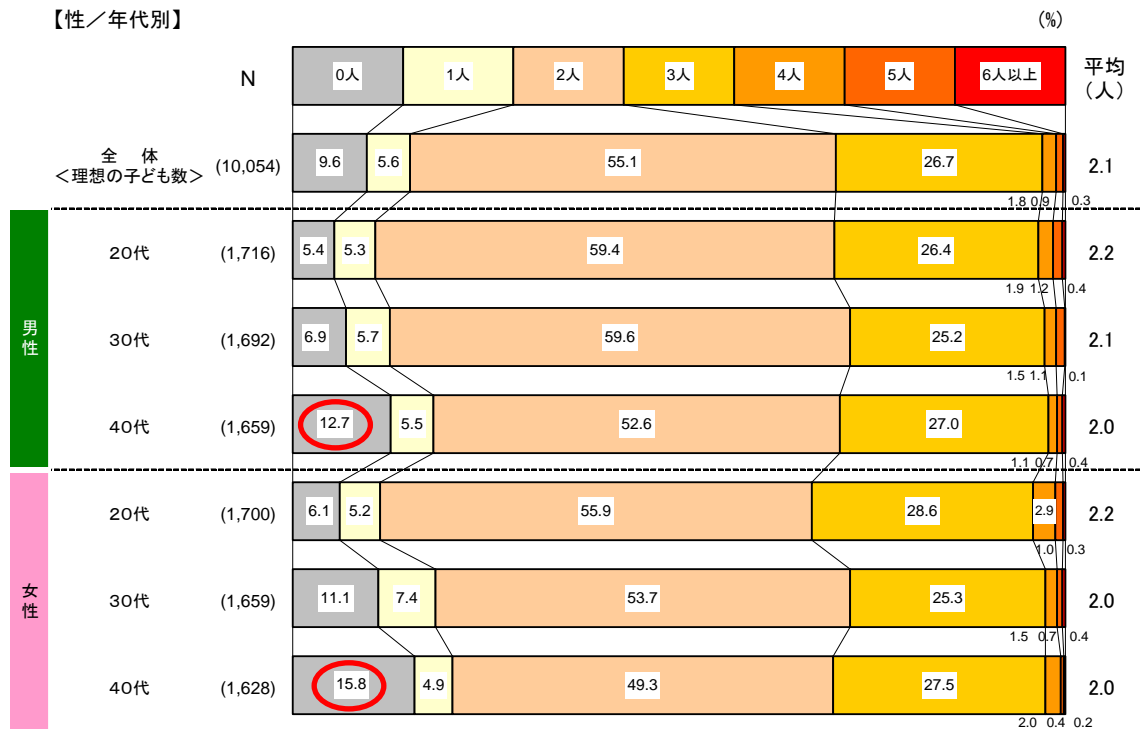
\* 調査票では、「6人」「7人」「8人」「9人」「10人以上」という選択肢で質問していたが、図表では「6人以上」にまとめている。平均値算出に際しては、「10人以上」は10人として計算。

回答者全員に、理想的な子どもの人数（以下、理想の子ども数）と、実際に持つつもりの子どもの人数（以下、予定の子ども数）を聞いたところ、理想の子ども数としては「2人」（55.1%）が過半数で最も多く、次いで「3人」が26.7%となっている。一方、「0人」（9.6%）と回答した、子どもを持ちたいと思わない者は1割程度にとどまっている。

一方、予定の子ども数をみると、理想の子ども数と同様に「2人」（44.8%）と回答した者が最も多いが半数には届かず、「0人」（26.1%）と回答した実際には子どもを持つ予定のない者が4人に1人以上の割合となっている。

理想の子ども数を性・年代別にみると、理想の子ども数の平均に差はみられないが、男女とも年代の高い層ほど「0人」と回答する割合が増加しており、子どもを持ちたいと思わない者が多くなっている（図表 1-1-1）。

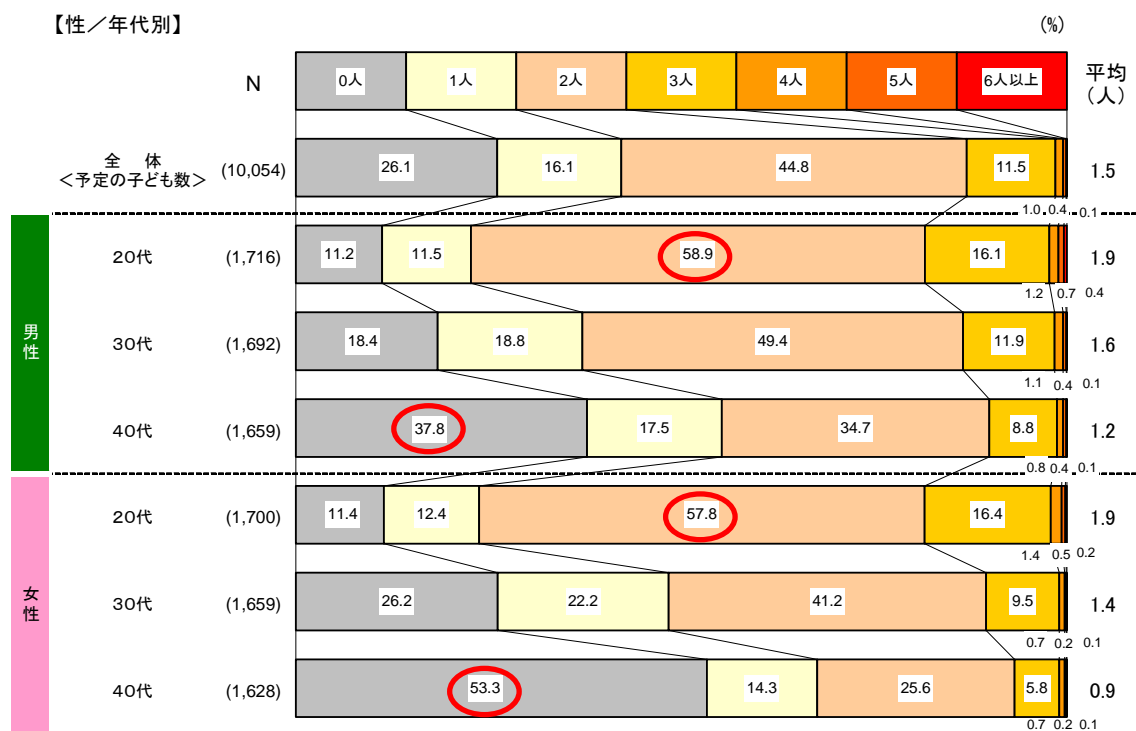
図表 1-1-1 理想の子ども数（性・年代別）



一方の予定の子ども数を性・年代別にみると、男女とも年代による差が大きく、20代では「2人」（男性58.9%、女性57.8%）を予定している人が6割弱であるが、40代で「2人」の子どもを予定している者は男性34.7%、女性25.6%となっている（図表1-1-2）。

これに対して、「0人」と回答した、子どもを持つ予定のない者は40代の男性では37.8%、女性では53.3%と過半数を占めている。

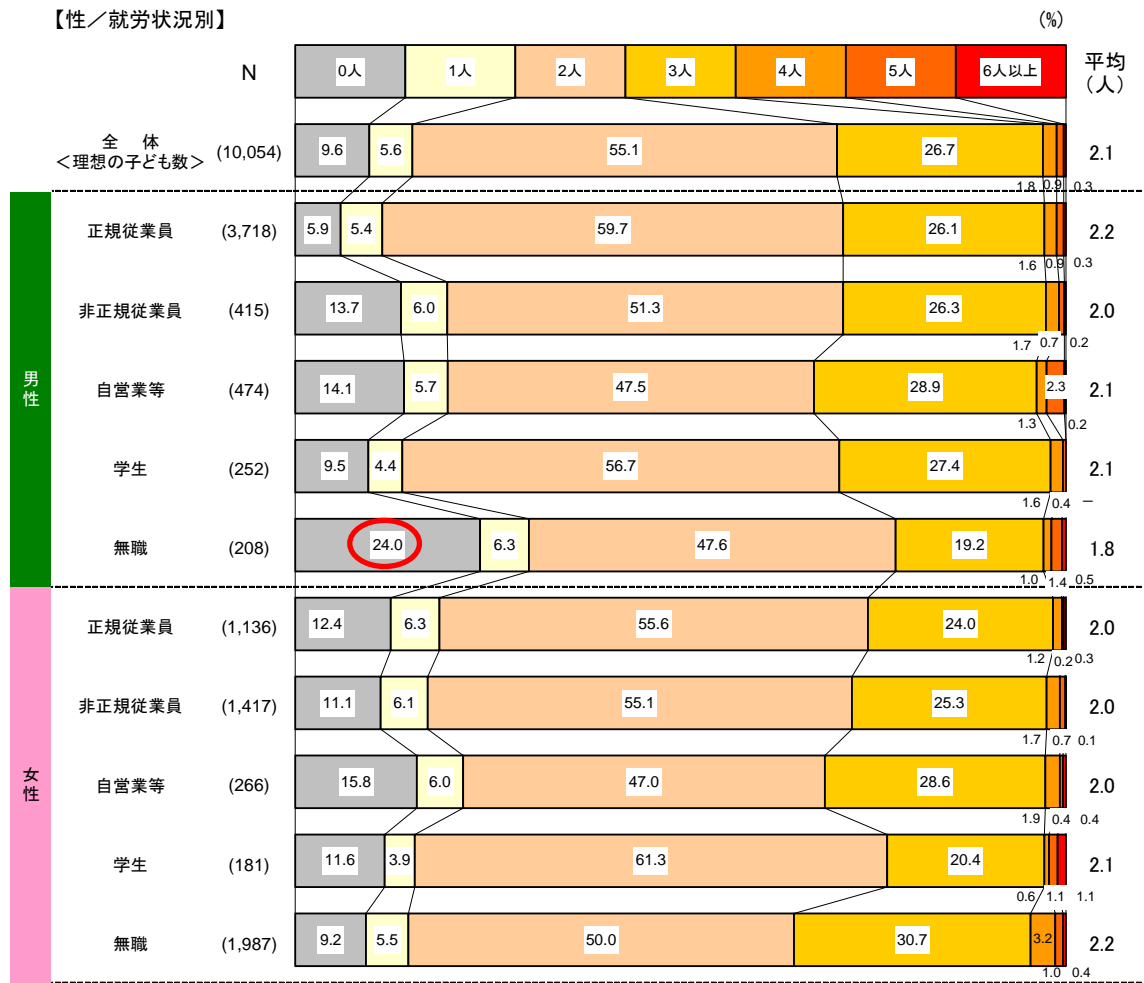
図表 1-1-2 予定の子ども数（性・年代別）



理想の子ども数を性・就労状況別にみると、いずれの層でも「2人」が最も多く、次いで「3人」となっている（図表 1-1-3）。

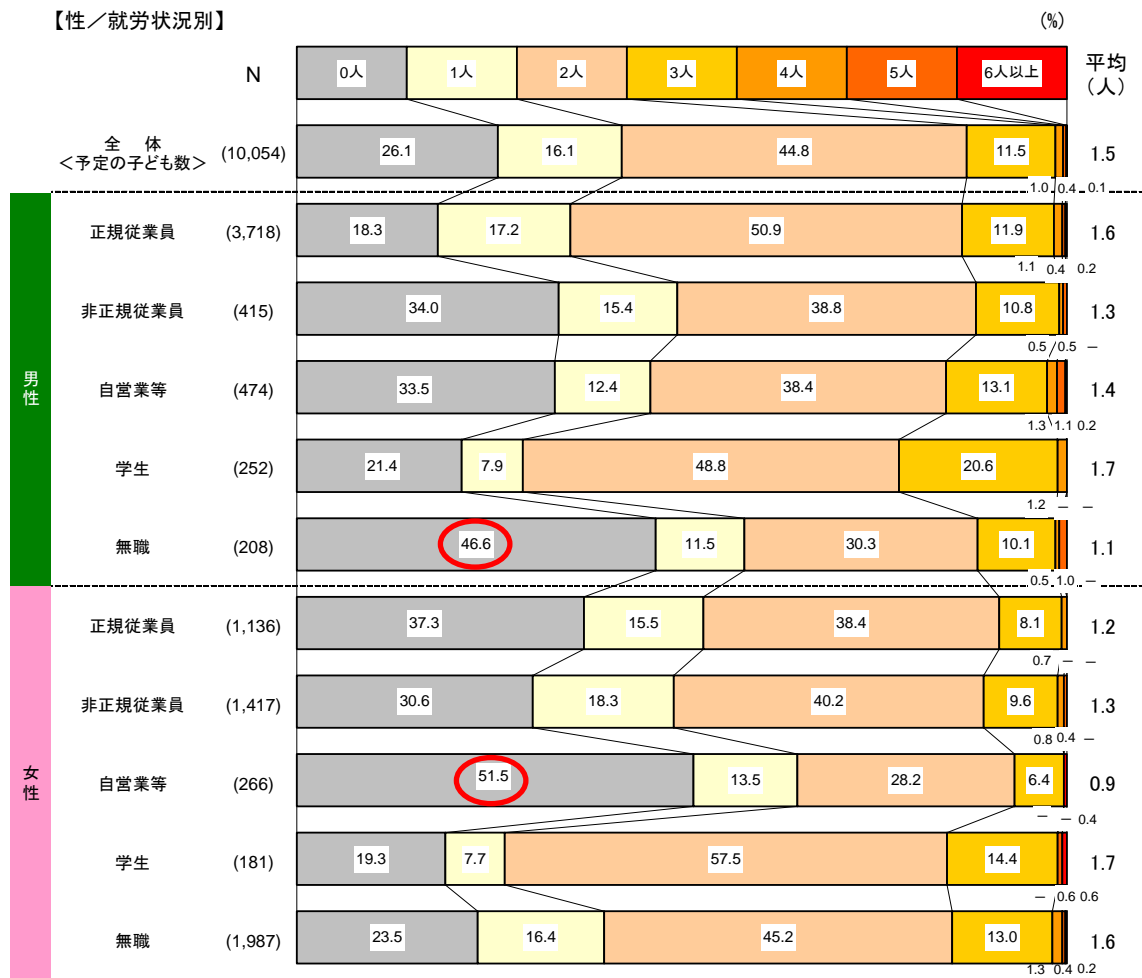
男性の無職者では、「0人」（24.0%）と回答した、子どもを持ちたいと思わない者が多くなっている。

図表 1-1-3 理想の子ども数（性・就労状況別）



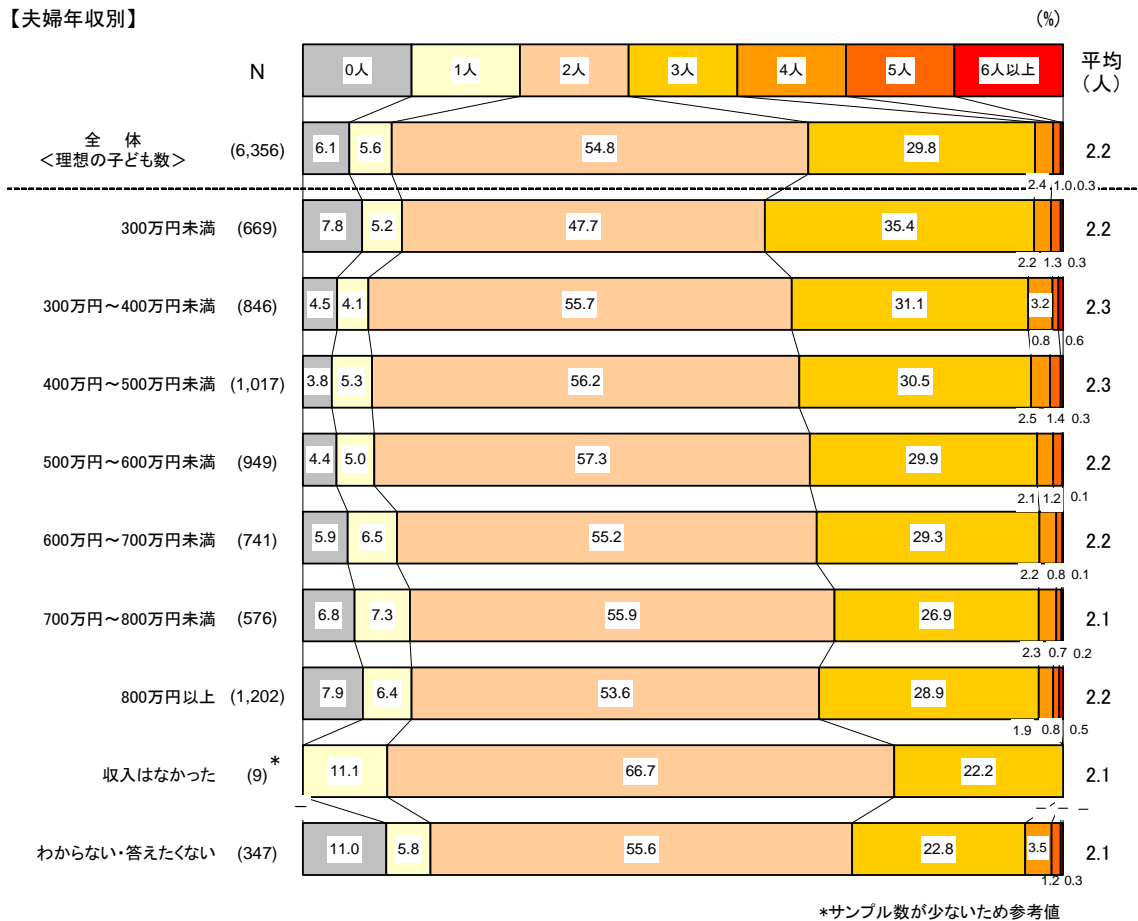
予定の子ども数を性・就労状況別にみると、男性の無職者と女性の自営業等では「0人」（男性無職 46.6%、女性自営業等 51.5%）と回答した、子どもを持つ予定のない者が5割前後であるが、それ以外の層では「2人」を予定している者が最も多くなっている（図表 1-1-4）。

図表 1-1-4 予定の子ども数（性・就労状況別）



さらに理想の子ども数を夫婦年収別にみると、いずれの年収層でも「2人」を理想とする者が最も多く、次いで「3人」となっているが、「3人」と回答した者は年収の低い層ほどやや多い傾向がある（図表 1-1-5）。

図表 1-1-5 理想の子ども数（夫婦年収別）



予定の子ども数を夫婦年収別にみると、いずれの年齢層でも「2人」を予定している者が多い（図表 1-1-6）。

年収が低い層ほど「3人」を予定している者がやや多い傾向にある。

図表 1-1-6 予定の子ども数（夫婦年収別）

